

SUZUKA UNIVERCITY LIBRARY NEWS

2025 年度
4 月号



こんにちは！ 附属図書館です。
新しい年度が始まりました。図書館といえば皆さんは、静かに勉強する場所、多数の本棚に様々な本が並べられている場所をイメージされることでしょう。それぞれの本はあらゆる情報への入口です。大学での授業や実習、資格取得などに必要な多くの情報も図書を通し、身に付けてください。

【図書館の利用方法を知って多くの本を活用していきましょう。】

★OPAC（オーパック）での資料検索

OPAC（オーパック）とは、Online Public Access Catalog の略で、図書館の蔵書を Web 上から検索できるサービスです。図書館内および Web に接続している学内外のパソコン・タブレット等から図書館の蔵書（図書、雑誌、視聴覚資料）を検索できます。図書館ホームページの画面にある「OPAC 蔵書検索サービス」から利用できます。授業や採用試験に役立つ本や過去問などを検索し、ぜひ利用してください。



★図書館ホームページから web 貸出予約も可能です。

予約していただいた本の準備ができましたら G メールでお知らせしますので、図書館カウンターで受け取りください。
※利用者 ID とパスワードの入力が必要になります。詳しくは図書館カウンターでお問い合わせください。



ひなまつりの展示



春の展示



今月の展示コーナーは、
留学生のみなさんへ
おすすめの図書を集めました。
どうぞ活用してください。



新着本も
届いています！

[お知らせ]

・本よもうねっと MIE に加盟いたしました。

<https://sites.google.com/mie-c.ed.jp/honyomonetmie>

本よもうねっと MIE は、子どもをはじめとしたすべての県民の読書活動を推進するため、家庭や学校、地域の方々、企業、団体などが連携し、それぞれの活動を共有するとともに、互いの強みを生かし、できることを無理のない範囲で協働する緩やかなネットワークです。



「アルジャーノンに花束を」

早川書房：ダニエル・キイス



短期大学部 食物栄養学専攻 青木孝子 助手

「アルジャーノンに花束を」はSF小説になるのですが、私がイメージする異星人が登場したり、タイムスリップをするようなSF小説ではありません。主人公のチャーリーが、賢くなりたいと願い知能指数を高める脳手術の臨床試験の被験者第1号となり、68の知能指数が上がって行く過程とその後。

人間より前に動物実験で同じ手術を受けたハツカネズミのアルジャーノンが驚異的な知能を得たのち、急速なスピードで知能を失うのを見て、自分の行く末を知る主人公の書いた経過報告が綴られている小説です。

主人公が書いた経過報告は「それは」が、「それわ」になっていたり、句読点がないような誤綴りだらけの文章から始まり読みにくい部分もありますが、主人公の知能が上がり、経過報告の文書も正しくなってきます。

しかし、急成長する知力に感情が幼いまま感情のバランスが取れず、以前とは異なる態度で接する主人公から、周囲の人は離れて行き、孤独感を抱き、さらに忘れていた記憶に追い込まれて行きます。

そのようすも経過報告に書かれています。その中には、線を引いておきたくなるような、感動や共感、考えさせられる文章が多数書かれています。終盤に多く書かれていますので、終盤を除いた部分から3つだけ挙げておきます。

- ・「IQ とは何か」についての、ニーマ教授とストラウス博士の議論
- ・主人公が大学へ行き教育を受けることの重要な理由のひとつ
- ・ワレン養護学校の寮母さんの言葉 この本を手にとられた方は、探してみてください。

また、この小説は1959年にアメリカで発表された物で、1968年に映画化されています。日本でも舞台化、ラジオドラマ化され、2002年と2015年の2度ドラマ化されています。原作と比べてみるのも面白いかもしれません。